

(別紙1)

## 管理運営状況 評価シート【平成27年度】

(評価日 平成28年6月15日)

### 1 施設の概要

施設名	岩手県立水産科学館
所在地 電話・FAX HP・電子メール	宮古市日立浜町32番地28 TEL 0193-63-5353 FAX 0193-64-4855 <a href="http://www.city.miyako.iwate.jp/suisan/suisan_kagakukan.html">http://www.city.miyako.iwate.jp/suisan/suisan_kagakukan.html</a>
設置根拠	水産科学館条例
設置目的	(設置:昭和61年4月18日) 水産資源、水産技術等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の水産についての知識の普及及び教養の向上を図る。
施設概要	敷地面積、建物面積、主な施設、利用定員等 敷地面積 5,671m <sup>2</sup> 建物面積 1,535m <sup>2</sup> (常設展示室 600m <sup>2</sup> 、特別展示室 100m <sup>2</sup> 、集会室 70m <sup>2</sup> 、エントランスホール 135m <sup>2</sup> 等)
施設所管課	岩手県農林水産部水産振興課 (電話 019-629-5817 メールアドレス AF0013@pref.iwate.jp)

### 2 指定管理者

指定管理者名	宮古市
指定期間	平成27年4月1日～平成29年3月31日(3年間)
連絡先	宮古市産業振興部水産課 TEL 0193-62-2111

### 3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	管理運営及び企画全般、資料の収集、保管、展示、入館料収納事務、宣伝、広報等		
職員配置、管理体制	8名 (平成28年3月31日現在) (内訳) 正職員2名、非常勤職員3名 臨時職員3名	組織図	館長(非常勤) 一主査一主任一資料・水槽管理4名(非常勤2名・臨時職員2名)一事務補助1名(臨時職員)
利用料金	一般300円(※団体1人につき140円)、大学生・専門学校生等140円(※団体1人につき70円)、高校生以下無料 ※20人以上での来館は団体料金		
開館時間	9時から16時30分まで ※通常の開館時間外の入館希望者があつた場合は、随時対応	休館日	月曜日(祝日と重なる場合は一番近い平日) 年末年始(12月28日から1月4日まで)

### 4 施設の利用状況

(利用者数、稼働率)	第1期平均	第2期平均	第3期				第4期
			24年度	25年度	26年度	期間平均	27年度
入館者	15,159	12,935	14,974	13,942	13,290	14,069	13,562

## 5 収支の状況

(単位：千円)

区 分	第1期 平均	第2期 平均	第3期				第4期	
			24年度	25年度	26年度	期間平均	27年度	
収入	指定管理料	38,545	29,986	29,986	29,986	30,843	30,272	30,864
	入館料等	2,393	1,844	2,268	2,036	1,898	2,067	2,057
	小計	40,938	31,830	32,254	32,022	32,741	32,339	32,921
支出	報酬	8,055	2,552	4,574	4,579	4,579	4,577	4,622
	給料	7,177	8,245	7,356	7,197	7,695	7,416	7,828
	職員手当等	3,171	3,564	3,224	2,221	3,127	2,857	3,239
	共済費等	2,490	7,392	5,923	5,951	5,813	5,896	5,605
	需用費	10,513	9,517	9,514	9,595	10,539	9,883	10,522
	役務費	997	707	665	787	812	755	797
	委託料	6,485	5,921	6,210	6,488	6,932	6,543	6,346
	賃借料	784	778	924	923	836	894	853
	小計	39,652	38,675	38,390	37,741	40,333	38,821	39,812
収支差額	1,286	-6,845	-6,136	-5,719	-7,592	-6,482	-6,891	

## 6 利用者の意見等への対応状況

## (1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	入退館時及びイベント時に聞き取り	実施 主体	県立水産科学館
------	------------------	----------	---------

## (2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 件、要望 件、その他 件
主な苦情、要望等	対応状況
① 夏期の館内の冷房が強い	魚介類を展示している水槽の、水温を保つための処置であることを、貼り紙及び口頭で説明している。
② 常設展示室が暗い	海中をイメージしたものであることを説明し、足元に気を付けるよう促している。
③	
その他利用者からの積極的な評価等 宮古近海に棲息するものを中心として魚介類を展示しているが、観光客だけではなく地元からの来館者にも好評である。 館内での写真・ビデオ撮影を許可しており、こちらも来館者に好評である。	

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	仕様書及び関係法令に基づき次の業務を完全に履行すること。 【業務区分】 管理運営業務 ・ 経理事務 ・ 物品の整理、保管 ・ 設備の操作 ・ 試料の収集、保管、展示 ・ 試料の調査、研究 ・ 報告書の刊行 ・ 入館者の案内、解説 ・ 宣伝、広報 【業務区分】 入館料収納事務	・ 業務全般について、職員間での情報共有を心がけ、適正な業務の遂行に努めた。 ・ 経理事務について適正に遂行し、現金の過不足などは生じなかった。 ・ 寄贈された資料の管理・調査・保管について、適正に行った。 ・ 物品の保管・管理、館内設備等の管理について、適正に行った。 ・ イベントに際しては、宮古市広報・市公式ホームページ・市公式フェイスブックへの掲載、市内外各所へのポスター掲示依頼、市内教育機関等への案内、案内看板の設置、報道機関への情報提供を行い、周知を図った。	A
施設の利用状況	平成 24 年度入館の利用者数（14,974 人）を達成すること。	実績 13,562 人であり、目標を達成できなかったが、前年度(13,290 人)を上回る入館者数だった。今後、更なる取り組みを行い、目標達成へ向けて努力したい。	B
事業の実施状況	利用者ニーズに合った展覧会、研修会、講習会等を実施すること。	開催した企画展等の入館者数 ・ 収蔵資料展～造船と信仰 1,449 人 ・ 磯の生物展 5,743 人 ・ 親子餌付体験 16 人 ・ 宮古港歴史展 1,398 人 ・ 船の写真展 526 人 ・ 新巻鮭作り講習会 47 人 ・ 鮭革細工教室 27 人 ・ わかめの学習・試食会 56 人 ・ カラー魚拓講習会 20 人	A
施設の維持管理状況	仕様書及び関係法令に基づき次の業務を完全に履行すること。 【業務区分】 管理運営業務 ・ 財産の維持管理 ・ 施設の防火管理、訓練 ・ 施設の警備 【業務区分】 清掃業務 【業務区分】 施設保守業務 【業務区分】 警備業務 【業務区分】 植栽管理業務	・ 適正かつ効率的な施設維持管理に努めた。 ・ 一日に数回、館内の見回りをを行い、設備の稼働状況の把握に努めた。 ・ 火の取扱いについては細心の注意を払い、職員の防火意識の向上に努めた。 ・ 自衛消防訓練について、図上及び実地訓練を各々年 1 度ずつ行った。 ・ 専門的な業務については、専門業者へ業務委託を行った。	A
記録等の整理・保管	各種管理記録簿等を整備、保管し、県の要請に応じて遅滞なく提示すること。	・ 各種記録簿等について、適切に整備・保管を行った。	A

自主事業、提案内容の実施状況	—	—	
<p>(施設所管課評価)</p> <p>施設の利用者は、目標の8割以上を保持し、昨年度を上回っているところであり、利用状況は概ね良好と認められる。</p> <p>また、企画展や体験学習教室の開催、宮古市でのマラソンイベントとの連携など、利用者確保の取組を積極的にしており、その内容は評価に値する。</p> <p>広報活動、施設の維持管理及び入館料収入事務、記録簿の整理は適切に行われていると認められる。</p>			A

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した者を適正に配置すること。	・館の運営管理、資料の整備保管、魚介類の飼育管理等について、各々の業務に適した職員を配置した。	A
苦情、要望対応体制	苦情、要望に対する対応を適切に行わない、職員間で情報共有を行うこと。	・職員間の情報共有を図り、可能な限り迅速に対応し、対応できなかった事例は無かった。	A
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、緊急時における訓練を実施すること。</li> <li>・仕様書第11に定める対応（入館者に事故が発生した場合の応急手当等）を行うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛消防訓練を行い、火災を想定した避難誘導及び消火活動訓練を行っている。図上訓練・実地訓練を各々年1回、計年2回実施した。</li> <li>・AEDを設置し、取扱い方法について、消防署員を講師に招き救急救命研修を行った。</li> <li>・非常灯や誘導灯等について、不備があった場合は迅速に修繕を行っている。</li> </ul>	A
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の法令遵守の意識を啓発する取組を行うこと。</li> <li>・個人情報の保護等を定めた基本協定第6章を遵守すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令順守について、職員に周知徹底した。</li> <li>・個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払っている。宮古市にて作成した個人情報取り扱いについての手引書を常設しており、それに基づいた取扱いを行った。</li> </ul>	A
県、関係機関等との連携体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県に適宜連絡を行ない、円滑な運営を行うこと。</li> <li>・緊急時の連絡体制を構築すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と適宜連絡を取り、円滑な運営に努めた。</li> <li>・非常招集系統図を作成し、宮古市水産課との情報共有を図った。</li> </ul>	A
<p>(施設所管課評価)</p> <p>協定内容に従って、適切な体制により運営されていると認められる。</p> <p>また、事故、緊急時の対応についても、標準項目を満たして取り込んでいると認められる。</p>			A

## (3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	職員の接遇向上を図ること。	・毎朝の朝礼において、職員間で、お互い気づいた点について確認しあって、接遇向上に努めた。	A
利用者サービス	利用者のニーズにあったサービス提供を行うこと。	・開閉館時間前後の入館希望者については、基本的に受け入れるように対応した。 ・繁忙期である8月第1・2週については、通常は休館日である月曜日でも臨時開館し、利用者の利便を図った。	A
利用者アンケート等	・正確なニーズ把握の方法を検討し、実施すること。 ・ニーズ把握の結果を分析すること。	・来館者からの要望などがあった場合は、実現可能であるか、検討を行っている。 ・イベント時に、入館者へアンケート調査を行い、要望点を運営に反映できるか検討している。	A
(施設所管課評価) 集客性の高い夏季イベント「磯の生物展」を27年度も継続開催して利用者へのサービス提供に努めているほか、同イベントの開催中にアンケート調査を実施して来場者のニーズ把握に努め、施設の充実化に取り組んでおり評価できる。 また、繁忙期の休館日を臨時開館するなど、来館者ニーズに対する意識が認められる。			A

## (4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画と収支実績が乖離していないこと。	ほぼ計画通りの実績となっている。	B
指定管理者の経営状況	—	—	—
(施設所管課評価) 概ね計画通りの実績と認められる。			B

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

## 8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

### (1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <p>平成27年度についても、例年同様に適正な管理運営に努め、また運営経費の節減が求められる状況の中で、より一層の経費節減にも努めた。</p> <p>夏期に行っている「磯の生物展」をはじめとして、年間を通じて数々の事業を行うことで入館者の増加を図った。</p> <p>例年行っている事業の中で、毎年1月に行っている「海藻押し葉教室」については、講師の都合により開催を見送ったが、他の事業については平成27年度においても開催した。</p> <p>例年行っている事業の他にも、平成27年度は宮古港開港400周年にあたることから、「収蔵資料展～造船と信仰」を4月から5月にかけて、「宮古港歴史展」を9月から10月にかけて、「船の写真展」を12月から1月にかけてと、3つの企画展を開催した。</p> <p>特に、「宮古港歴史展」を開催中だった9月の入館者数は、前年の約1.8倍であり、入館者の増加につなげることができた。</p> <p>また、2月には「宮古のわかめは日本一！わかめの学習&amp;試食会」を本年度新たに開催し、冬季閑散期に56名の参加者を集めることができた。</p> <p>いずれの事業も、来館者から好評を得ており、今後もこのような利用者の増加につながる取り組みを進めていきたい。</p>
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <p>入館者の増加に向けて、引き続きイベントや体験メニューなど検討を行なっていきたい。</p> <p>特に、冬季閑散期の入館者の増加については以前からの課題でもあり、中でも、2月から3月の積雪時に入館者が少ないことに苦慮しており、より力を入れる必要があると思われる。</p> <p>また、市外からの利用促進が図られるよう、観光情報誌への広告掲載や、イベントのPRなど積極的に行っていきたい。</p>
<p>③ 県に対する要望、意見等</p> <p>開館から30年経過していることから、設備の経年劣化は否めない部分もみられる。</p> <p>機器の点検・検査において、耐用年数を経過した機器が使用されている点を指摘されている部分も多い。</p> <p>県において、順次対応いただいているところであるが、館の運営に支障が生じないよう配慮いただきたい。</p> <p>また、開館以来、常設展示室での展示は大きく変化しておらず、総合的な展示替えについて検討いただきたい。</p>

### (2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について</p> <p>入館者数は開館以降、減少傾向にあるものの、年間を通じて様々な企画展や体験学習を実施して入館者の確保・増加に取り組む、27年度は26年度を上回る来館者数となった。</p> <p>利用者へのサービス提供については、アンケート調査を通じてニーズを把握し、積極的な対応をしており、高く評価できる。</p> <p>総合的に高いレベルで施設の管理運営が行われていると認められる。</p>
<p>② 県の対応状況について（自己評価）</p> <p>指定管理者と連携を密にして、施設の修繕の必要性を情報共有した他、緊急性のあるものについて修繕工事を実施して円滑な管理運営に配慮した。</p>
<p>③ 次期指定管理者選定時における検討課題等</p> <p>施設竣工から30年が経過したことから、計画的な維持修繕を実施して施設の管理運営を図っていく必要がある。</p>

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）